

	1明るく元気な地域づくり	2安全で安心な地域づくり	3健康で豊かな地域づくり	4相談しやすい体制づくり
今年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・自学ひろば ・「グリーンカーテン」を通じたつながり ・ラジオ体操のふれあい交流 ・本町2丁目1区と明治安田の清掃活動 ・新津第一小学校福祉教育 ・ひんやり広場(三善道絆の会) ・各種交流事業(本町1、秋葉1～3合同、三善道、中沢町) 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急情報キット配布事業(見守り) ・新津第一中と地域合同の防災学習会 ・自主防災訓練(本町1、本町2-2区、善道町1、秋葉1、田家2) ・ゴミ出しの助け合い活動(秋葉3) ・除雪のたすけあい活動(善道町1、田家3、秋葉3) ・セーフティスタッフの見守り(挨拶) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ体操のふれあい交流(再掲) ・フレイルチェック ・(各地)地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携による歳末見守り事業(15町内実施+1町内該当者なし)
活動の様子	<p>本町2丁目1区と明治安田の清掃活動</p> 	 <p>自主防災訓練</p>	 <p>ラジオ体操のふれあい交流</p>	 <p>地域連携による歳末見守り事業</p>
取組んでみての課題	<ul style="list-style-type: none"> ・自学ひろば <p>自主学習の場であるが、塾のように教えてもらって学ぶという誤解があり、理解を広める必要がある</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・(本町1)防災訓練 <p>要支援者の安否確認訓練が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(本町2-2区) <p>震度5→対策本部立上げとなっているが、形式的訓練になりがち。LINE活用などの工夫が必要。(活用検討を開始している)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(本町3-2区) <p>防災訓練したが参加者は数名。関心高める必要性を感じている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(善道町1) <p>避難所確認など、実際を想定した訓練必要。要支援者名簿見直しも必要。</p> <p>●中央地区全体として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自治会の防災の取り組みや課題を共有し合うためのしくみがほしい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・歳末見守り事業 <p>町内会と民生委員の連携が目的の事業だが、実態は民生委員のみ訪問した町内があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な町内の班長が1人ぐらし世帯を知っておき見守りができるような取り組みが必要である。

	1明るく元気な地域づくり	2安全で安心な地域づくり	3健康で豊かな地域づくり	4相談しやすい体制づくり
取り組んでみての評価	<ul style="list-style-type: none"> ・自学ひろば 20名参加。地域の人と学習習慣を身につける効果あった。子どもと地域住民の顔の見える関係もできている。 ・(本町4-2区) 町内会館で納涼会、転入世帯も交流ができた。 ・(二の丁よつば会・老人クラブ)で、一小的3年生と交流した。今後、よつば会が一小に訪問する予定。高齢者と子どもの交流が、福祉教育にもつながる ・家族表が敬老会の案内に役立った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(本町1)防災訓練に35人参加。関心が高まっている。 ・(田家2)防災訓練2回/年実施(夏…ラジオ体操最終日、冬12月…危険箇所確認)長年継続、定着している。 ・(善道1)自主防災班長が全員参加。地域の役割の認識が高まってきている ・(本町2丁目2区)避難行動要支援者の安否確認訓練を継続出来ている。 ・(一中防災学習)住民として参加。中学生の意欲を聞くことができ、良かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ体操のふれあい交流は定着してきており、参加者の健康づくりに役立っている ・地域の茶の間の継続により高齢者の介護予防になっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・歳末見守り事業 地域連携(町内会長と民生)ができた町内もあった。今後も継続が必要。 ・(田家2)歳末見守り事業 町内会独自の持参品を加えて配布しても喜ばれた。 ・(本町2-2区)歳末見守り事業 民生委員1人だけではなく、町内役員みんなで訪問することができ、みんなが見守っているというメッセージにもなって良かった
5年間の評価				
	<p>各基本目標に向け、計画書に書かれていることに取組んだかどうかで評価し、懇談会に参加した地域の皆さんがお一人ずつ評価してくださいました。 A=80%以上取組めた(新規活動や既存活動の工夫を行った) B=50%の取組み(既存の取組みの継続) C=30%の取組み(道半ば・やめてしまった)D=全く取組めなかった ※グラフは、評価をつけた方の人数の割合です。</p>			
地域に残る福祉課題	<p>【防災の取組み】各町内の防災訓練はできている⇒その先のしくみづくりを地区全体で考えて行く必要がある 【地域の情報共有の課題】見守り活動等をみんなでやっていくために個人情報保護法を正しく理解する必要がある。 【孤独・孤立の課題】 ・(包括支援センター)家族と同居の方について、見守りの要望が包括によせられる。子との関係が希薄な世帯も多い。認知症の疑いで家族同居の人でも相談ある。 ・誇り高く、相談しない高齢者多い⇒「助けて」が言いやすい関係を地域で築くことや、助けられることへのハードルを下げる意識醸成が課題 【地域福祉活動計画全体として】活動計画の実行について地域全体で連動してやっていくしくみが必要。</p>			

[参加者] 新津中央コミ協:中村会長、小林副会長、小野沢副会長、小山副会長、辻川会計、本望事務局長、三澤健康福祉部副部長、新津中央民協:会田会長、町内会:五十嵐会長(新津本町4丁目2区)、地域教育コーディネーター:菅井 co(新津第一中)、地域包括支援センター新津:長谷川主任 CM、秋葉区社協:秋山事務局長補佐、加藤(支え合いのしくみづくり推進員)